

Ⅲ. 血栓症のリスクファクター

1. 心電図の男女差



横浜市立大学附属市民総合医療センター

心臓血管センター客員准教授 小菅 雅美 (Kosuge, Masami)

THROMBOSIS and Circulation

§ 論文のポイント

- [1] 安静 12 誘導心電図では、RR 間隔、QRS 波高、ST レベル、T 波の高さ・面積、QTc 間隔について性差が存在する。
- [2] 女性は男性に比べ QTc 間隔が長く、2 次性 QT 延長症候群が多い。女性に QT 時間延長作用のある薬剤を投与する場合は、QT 時間を頻回に測定するなど注意が必要である。
- [3] 心房細動はいずれの年齢においても女性より男性で高率に発症する。一方で抗凝固療法を行っていない場合に脳梗塞の発症頻度は女性が男性に比べ高率である。
- [4] 正常の ST レベルは、性別、年齢、誘導により異なる。健常人では、ST レベルは V₂-V₃ 誘導が最も高く、女性より男性が高い。
- [5] 急性心筋梗塞の心電図診断基準では、正常の ST レベルの差異を考慮し、ST 上昇を異常とみなすカットオフ値を定めている。

§ キーワード

心電図 / 性差 / ST 部分 / QT 時間